

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2000-90261(P2000-90261A)

【公開日】平成12年3月31日(2000.3.31)

【出願番号】特願平10-260644

【国際特許分類第7版】

G 0 6 T 5/20

H 0 4 N 1/40

【F I】

G 0 6 F 15/68 4 0 0 A

H 0 4 N 1/40 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の画像データを第2の画像データに変換する画像データ変換装置において、

上記第1の画像データから抽出された注目画素を含む複数の画素における各画素値の変化量の絶対値と符号とから上記注目画素に対するクラスを決定するクラス決定手段と、

上記クラスに応じて予測データを発生する予測データ発生手段と、

上記予測データから上記第2の画像データの上記注目画素を発生する画素データ発生手段と

を具えることを特徴とする画像データ変換装置。

【請求項2】

上記クラス決定手段は、

上記第1の画像データから上記注目画素を含む複数の画素を抽出し、その抽出された各画素値の変化量を求め、当該各変化量の絶対値と符号とから上記注目画素に対するクラスを決定する

ことを特徴とする請求項1に記載の画像データ変換装置。

【請求項3】

上記クラス決定手段は、

上記第1の画像データの各画素値の変化量をそれぞれ求めた上で上記注目画素を含む複数の画素を抽出し、その抽出された各画素値の変化量の絶対値と符号とから上記注目画素に対するクラスを決定する

ことを特徴とする請求項1に記載の画像データ変換装置。

【請求項4】

上記クラス決定手段は、

上記第1の画像データから水平又は垂直方向に抽出された上記注目画素を含む複数の画素における各画素値の変化量の絶対値と符号とから上記注目画素に対するクラスを決定する

ことを特徴とする請求項1に記載の画像データ変換装置。

【請求項5】

上記クラス決定手段は、

上記第1の画像データから間引いて抽出された上記注目画素を含む複数の画素における各画素値の変化量の絶対値と符号とから上記注目画素に対するクラスを決定することを特徴とする請求項1に記載の画像データ変換装置。

【請求項6】

上記予測データは、

上記第1の画像データから抽出された上記複数の画素に対応して存在する予測係数なり、

上記画素データ発生手段は、

上記クラスに応じて発生された上記各予測係数と上記第1の画像データから抽出された上記複数の画素とから上記第2の画像データの上記注目画素を発生する

ことを特徴とする請求項1に記載の画像データ変換装置。

【請求項7】

上記予測データは、

上記第2の画像データに対応する学習データを用いて予め学習によって生成されていることを特徴とする請求項1に記載の画像データ変換装置。

【請求項8】

第1の画像データを第2の画像データに変換する画像データ変換方法において、

上記第1の画像データから抽出された注目画素を含む複数の画素における各画素値の変化量の絶対値と符号とから上記注目画素に対するクラスを決定し、

上記クラスに応じて予測データを発生し、

上記予測データから上記第2の画像データの上記注目画素を発生することを特徴とする画像データ変換方法。